

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月31日

計画の名称	小樽港第3号ふ頭及び周辺における賑わいと活力ある港湾空間の形成												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	小樽市												
計画の目標	平成26年6月に小樽市で策定した「第3号ふ頭及び周辺再開発計画」に基づき、当該地区の既存港湾施設において、クルーズ振興とみなと観光の拠点づくりを目指した計画的な改良を行い、賑わいと活力ある交流空間の形成を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,441	A	1,433	B	0	C	8	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.55	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R3当初	中間目標値 R5末	最終目標値 R7末
1	「第3号ふ頭及び周辺再開発計画」に基づき、第3号ふ頭基部において、市民や観光客が集うことができる交流空間の形成の整備達成率を100%とする。 市民や観光客が集うことができる交流空間が形成された緑地の整備達成率を算出する。 (市民や観光客が集う交流空間の整備達成率) = (交流空間が形成された面積(0.6ha)) / (交流空間を整備する面積(0.6ha))	0%	33%	100%
2	「第3号ふ頭及び周辺再開発計画」に基づき、小樽港で運行する観光船を第3号ふ頭基部に集約し、賑わいの場を形成するための小型船だまりの整備達成率を100%とする。 観光船を集約し、賑わいの場を形成するための小型船だまりの整備達成率を算出する。 (賑わいの場を形成するための小型船だまりの整備達成率) = (小型船だまりが整備された延長(135m)) / (小型船だまりを整備する延長(135m))	0%	31%	100%
3	「第3号ふ頭及び周辺再開発計画」に関連し、第3号埠頭基部岸壁改良により、物流機能の向上を図り、交流空間との輻輳を解消するための岸壁の改良達成率を100%とする。 物流機能向上を図るための基部岸壁の改良達成率を算出する。 (物流機能向上を図るための基部岸壁の改良達成率) = (岸壁の改良延長(128m)) / (岸壁を改良する延長(128m))	0%	100%	100%
4	「第3号ふ頭及び周辺再開発計画」に基づき、第3号埠頭基部臨港道路の改良により、物流機能の向上を図り、交流空間との輻輳を解消するための臨港道路の改良達成率を100%とする。 物流機能向上を図るための基部臨港道路の改良達成率を算出する。 (物流機能向上を図るための基部臨港道路の改良達成率) = (基部臨港道路の改良延長(85m)) / (基部臨港道路を改良する延長(85m))	0%	100%	100%
5	「第3号ふ頭及び周辺再開発計画」に基づき、第3号ふ頭基部において、市民や観光客が集うことができる交流空間を形成するための解体達成率を100%とする。 市民や観光客が集うことができる交流空間を整備するための解体達成率を算出する。 (市民や観光客が集う交流空間を整備するための解体達成率) = (内航船客待合所及びトイレの解体(1式)) / (交流空間を整備するための内航船客待合所及びトイレの解体(1式))	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	緑地の整備	緑地A=0.6ha、緑地護岸L=115m	小樽港中央地区						573	6.9	策定済	
	A02-002	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	建設	小型船だまりの整備	L=135m	小樽港中央地区							778	6.9	-
	A02-003	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	岸壁の改良	L=128m	小樽港中央地区							8	6.9	策定済
	A02-004	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	臨港道路の改良	L=85m	小樽港中央地区							58	6.9	策定済
	A02-005	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	緑地の整備	内航船客待合所・トイレ解体1式	小樽港中央地区							16	6.9	-
											小計							1,433		
											合計							1,433		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	C02-001	港湾	北海道	小樽市	直接	小樽市	重要	改良	案内標識の整備	標識工（新設）2基、標識工 （改良）2基	小樽港中央地区						8	6.9	-
		港湾事業（A02-001）と一体的に案内標識を整備することにより、市民と観光客が集うことができる交流空間の形成を図ることができる。																	
											小計						8		
											合計						8		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 小樽市産業港湾部港湾室において実施	事後評価の実施時期 事業終了後、令和8年3月
	公表の方法 小樽市ホームページ、小樽市産業港湾部港湾室港湾整備課
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緑地の整備により、市民や観光客が集うことができる交流空間が形成された。 2. 小型船たまりの整備を行った範囲について、賑わいの場が形成された。 3. 岸壁の改良により、物流機能が向上され、交流空間との輻輳が解消された。 4. 臨港道路の改良により、物流機能が向上され、交流空間との輻輳が解消された。 5. 内航船客待合所及びトイレの解体により、緑地整備が可能となり、市民や観光客が集うことができる交流空間が形成された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>社会資本整備総合交付金の目的に即して引き続き次期整備計画（R8）においても、当「計画の目標」である、クルーズ振興とみなと観光の拠点づくりを目指した計画的な整備を行い、賑わいと活力ある交流空間の形成を目標に、本計画で最終実績値が100%とならなかった指標について、引き続き実施していく。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	緑地の整備達成率	
	最終目標値	100%
2	最終実績値	100%
	最終目標値	100%
2	小型船だまりの整備達成率	
	最終実績値	56%
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	基部岸壁の改良達成率	
	最終目標値	100%
4	最終実績値	100%
	最終目標値	100%
5	基部臨港道路の改良達成率	
	最終実績値	100%
5	内航船客待合所及びトイレの解体達成率	
	最終目標値	100%
5	最終実績値	100%

計画の名称	小樽港第3号ふ頭及び周辺における賑わいと活力ある港湾空間の形成		
計画の期間	令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)	交付対象	小樽市

小樽港

